

広 報

みなみふらの

9

2019. SEPTEMBER No.762



第48回かなやま湖湖水まつり
(7月28日)

P 2 ~ 3	第48回かなやま湖湖水まつり
P 4	第25回参議院議員選挙投票結果
P 5	まちの話題・出来事
P 6 ~ 9	南の国の真夏に挑む体験の旅
P 10 ~ 11	カメラレポート
P 12	南富高新聞・学校だより
P 13	ほ の お
P 14	教育委員会通信
P 15	子育て支援センターだより
	保育所の元気な子どもたち
P 16	寄附、寄贈

第48回かなやま湖湖水まつり



わがまちの一大イベント「第48回かなやま湖水まつり」が7月27日（土）と28日（日）の2日間、かなやま湖畔キャンプ場で行われ多彩な催しに観光客らが多数訪れ賑わいをみせました。

初日の27日は、夕方よりステージにおいて南富良野町の子ども達による「キッズダンス」を皮切りに、「陸上自衛隊上富良野駐屯地音楽隊吹奏楽演奏」、テレビ東京系列「THEカラオケ★バトル」U18優勝者「原藤由衣歌謡ステージ」、地元バンド「ミステイクオンステージ」に続き、本町出身の演歌歌手「石上久美子の歌謡ショー」などが繰り広げられ、初日の最後を飾る花火大会では、全長700mの「ナイアガラ」の滝と約3000発の色とりどりの花火が夏の夜空を華やかに彩り見物客を魅了しました。

2日目の28日は、保育所園児による「よさこいソーラン」や「千里大学とゆかいな仲間合唱団による合唱」に続き、町内女性団体や北海道民謡指導者連盟の会員などが踊られた「湖水音頭」、「町文化協会芸能発表」のほか、子ども達

に人気の「仮面ライダージオウショー」や「ごしゅステーションショー」、メインステージショーである「みはるお笑い&ものまねショー」や「フォーリンラブお笑いライブ」が2回公演で行われ来場者を楽しませました。

また会場以外では、27日の午前と午後12時以降に自転車やユニホームを貸し出し、かなやま湖畔キャンプ場から南ふらの物産センターまで往復する水辺のサイクリング、28日は金山ダム見学会など盛りだくさんの催しや、会場内では28日に農協青年部による「はくちようもち」の無料配布や「湖池屋ポテトチップス」の無料配布、カヌー体験試乗会、町内農産物の販売、両日に渡りクリエーターズマーケット「KANAKURI」や「Living Anywhere Garage」による木工製品展示即売店、フワフワの子どもランド、食べ物飲み物の各出店などキャンプ場に1万2千人の来場者が詰めかけました。



第25回参議院議員選挙投票結果

選挙区 67.39%
投票率 比例代表 67.39%

7月21日、第25回参議院議員選挙が町内5投票所で一斉に行われました。
今回の投票率は、選挙区67・39%（前回70・61%）、比例代表67・39%（前回70・61%）と、それぞれ前回を下回る投票率となりました。
また、同日午後9時から保健福祉センターみなくるで行われた開票事務は、午後9時50分過ぎに選挙区、午後11時10分過ぎに比例代表が終了し、町内における得票結果が明らかになりました。
なお、町内各投票区の投票状況と得票状況は各表のとおりです。

参議院議員選挙区得票結果

候補者氏名	党派	町内得票数	道選挙区得票数
森山よしのり	幸福実現党	14	13,724
当選 高橋 はるみ	自由民主党	579	828,220
はたやま和也	日本共産党	64	265,862
いわせ 清次	労働の解放をめざす労働者党	10	10,108
当選 岩本つよひと	自由民主党	179	454,285
当選 勝部 けんじ	立憲民主党	362	523,737
中村 治	安楽死制度を考える会	13	23,785
はらや なみ	国民民主党	142	227,174
山本 貴平	NHKから国民を守る党	40	63,308
合 計		1,403	2,410,203

※町内無効投票数 64票



参議院議員比例代表得票結果

政党等の名称	町内得票数 総数 (①+②)	政党等の 得票数①	名簿登載 者の得票 総数②
日本共産党	91.8	54.0	37.8
自由民主党	493.0	303.0	190.0(1.0)
オリーブの木	12.0	10.0	2.0
社会民主党	25.0	20.0	5.0
公明党	173.0	146.0	27.0
国民民主党	87.2	74.0	13.2
日本維新の会	60.0	32.0	28.0
幸福実現党	4.0	1.0	3.0
立憲民主党	341.0	235.0	106.0
労働の解放をめざす労働者党	5.0	1.0	4.0(2.0)
NHKから国民を守る党	26.0	21.0	5.0
安楽死制度を考える会	11.0	9.0	2.0
れいわ新選組	44.0	27.0	17.0
合 計	1,373.0	933.0	440.0(3.0)

※町内無効投票数 94票

※総数②の欄の（ ）内数字は、特定枠名簿登録者記載総数であり総数②の内数です。

投票区別投票状況

投票区分		当日の有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第1投票区 (北落合)	選挙区	42	42	84	35	33	68	83.33	78.57	80.95
	比例代表	42	42	84	35	33	68	83.33	78.57	80.95
第2投票区 (落合)	選挙区	68	68	136	38	43	81	55.88	63.24	59.65
	比例代表	68	68	136	38	43	81	55.88	63.24	59.65
第3投票区 (幾寅・東鹿越)	選挙区	816	778	1,594	571	519	1,090	69.98	66.71	68.38
	比例代表	816	778	1,594	571	519	1,090	69.98	66.71	68.38
第4投票区 (金山)	選挙区	94	105	199	56	56	112	59.57	53.33	56.28
	比例代表	94	105	199	56	56	112	59.57	53.33	56.28
第5投票区 (下金山)	選挙区	80	84	164	61	55	116	76.25	65.48	70.73
	比例代表	80	84	164	61	55	116	76.25	65.48	70.73
計	選挙区	1,100	1,077	2,177	761	706	1,467	69.18	65.55	67.39
	比例代表	1,100	1,077	2,177	761	706	1,467	69.18	65.55	67.39

南富良野神社祭典に「令和音頭」初披露

毎年9月に行われます南富良野神社祭典に合わせ、幾寅婦人会や商工会女性部のほか協力者の有志の皆さんが、北島三郎さんの「平成音頭」を踊り、幾寅市街を周り祭典を盛り上げる準備を進めています。

有志の皆さんは、今年5月に元号が令和と改められ新しい時代がスタートし、北島三郎さんの「令和音頭」も新たに発売されたこともあり、新元号になってから初めての南富良野神社祭典では、この新しい「令和音頭」の踊りを披露したいと考えて来ました。

練習は7月上旬に発売されたDVDにより個人練習を行い、8月2日には第1回目の全体練習となり、当



日は気温30度を越える猛暑日でありましたが、汗をタオルで拭いながら、途中休憩を挟み1時間半ほどの練習を行い、皆で声を掛け振付を確認していました。

今後、全体練習は2回行われる予定で、9月17日の南富良野神社祭典で初披露となります。
「令和音頭」の初披露について、幾寅婦人会 後藤治子会長は「平成音頭も長い間、皆さんで踊り続けて来ましたが、令和音頭もこれから長く受け継がれ、南富良野神社祭典を守り続ける踊りになってほしい。」と話されていました。

ファミリーサポートセンター

会員募集中!

10月からの子ども預かり等の支援事業開始に向けて、協力会員向けファミリーサポートセンター講習会(全7回)が開催されました。

この事業は、子育て中のお父さん、お母さんを地域の皆さんで支え合い助け合うことを目的に利用者(子育て家庭)と協力者(サポーター)が会員となり子育てを応援する事業で、今回の講習会には、子育て援助活動に意欲のある27名が参加、6月24日から8月29

日までの間に7回開催され、小児科医、臨床発達心理士、救命救急士のほか、保育士などの町職員による講習を熱心に聴講されました。

【登録申し込み・お問い合わせ先】

○南富良野町ファミリーサポートセンター 52-2315
(子育て支援センター内)
○保健福祉課すこやかこども室 52-2211
(保健福祉センター内)

10月から子育て援助活動支援事業が開始されます



南の国の真夏に

挑む体験の旅

「沖縄の思い出と学んだこと」



南富良野小学校
長井 明日風

僕たちは、「南の国の真夏に挑む体験の旅」というき画で沖縄県本部町に行ってきた。僕は、沖縄に行くのが初めてなので、ずっとワクワクしていました。

でも、楽しむだけではないので、今回の旅の抱負は、めりはりをつけて行動すること、沖縄について詳しく知ることになりました。

いよいよ出発の日です。朝早く集合したときは、皆眠そうでしたが、それでも沖縄行きの、ワクワクしているように見えました。でも、天気予報で、沖縄は土砂降りと聞きました。僕は海に入れないかも、と思うドキドキしました。そして沖縄に到着。雨は止んでいました。それでもその分、じめじめとしていて蒸し暑く

さすが南の島だと思いました。僕たちは、那覇空港からバスに乗り込んで、いよいよ旅が始まった気がしました。

この旅のメインは、海での遊泳体験とホームステイ、そして平和学習です。ここからはその三つの体験を説明していきます。

まず遊泳体験です。遊泳場所はグリーンフラッシュビーチというビーチでした。海の中は前日まで降っていた雨の影響ですきとおらずにこっぴていました。それでも海はきれいです。バナナボートにも乗り、僕たちのテンションはMAXまで高まりました。さらに、砂浜には天然記念物のオカヤドカリなどもいて、やっぱり沖縄の海は特別感があると思いました。

最後に平和学習です。僕たちは、ひめゆりの塔や沖縄県平和祈念資料館、本部町立博物館などに行き戦争について学習しました。沖縄戦では二十四万人を超える人が亡くなり、それも一般の方が多く犠牲になっていたそうです。また、同じ日本人なのに日本兵が一般の人を殺すこともあったそうです。それは、自分達の居場所をばれないようにす



ひめゆりの塔

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で29回を数え「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月24日から28日までの日程で町内2校の小学6年生14名と随員5名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。参加した児童の思い出を、感想文で紹介します。

二度とくり返してはいけなことがわかりました。これで沖縄の旅が終わりました。

沖縄の旅は遊泳やホームステイなど楽しかったけど、七十四年前に戦争があつて、貧しい暮らしをして、いつ死ぬか分からない恐怖の中で必死に生きていたことも、忘れてはいけないと思います。

僕は今、戦いのない平和な暮らしが幸せであつたことに、この旅を通して気づきました。

「沖縄で学んだことと楽しかったこと」



南富良野小学校
植田 陸

僕は沖縄で学んだこと楽しかったことがあります。まず学んだことからです。ジンベエザメの生態を知ることができました。まず性格はあくびようだということがわかりました。あくびようだと知った時はあんな大きい体なのに

あくびようなんだとびっくりしました。

次に僕は沖縄戦のことを学びました。沖縄戦ではたくさんの方がなくなり、国内ではなく国外でもたくさんの方がなくなつたことがわかりました。戦争中は死体はほう置されていました。戦争中のアメリカ兵は日本語が話せるのがびっくりしました。戦争中の国内死亡者が沖縄以外で北海道が一番多いです。その理由は、北海道にゆうゆうな兵隊がいて、沖縄に移動命令が出されたために、北海道の人で死んだ人が多いそうです。次に楽しかったことです。楽しかったことはたくさんあります。

まず一つ目は、シーサー作りです。なぜ楽しかったかは、シーサーを作るのはおもしろかったけど、自分の中では上手に作れたからです。

次に楽しかったのは琉球ガラスコップ製作体験です。なぜ楽しかったのかは、沖縄に行く前から楽しみで、行く前に必ずかしのかなと思っていたら、作ってみると意外とかんたんで上手に作れたので楽しかったです。

次に楽しかったことは、グリーンフラッシュビーチで



マリン体験

やったバナナボートです。なぜかはバナナボートは雪の上ではやった事はあるけど、海ではやったことがなくて初めてやって、はねたりして楽しかったです。

次に楽しかったのは、美ら海水族館です。色々な魚やジンベエザメを見ました。とくにすごかったのがブラックマンタのえさやりでした。すごく大きく口を開けてえさを食べていました。水の中では一回転して食べていました。その数分後にジンベエザメのえさやりをしていました。今回の沖縄で学んだことや楽しかったことがたくさんありました。本部町の教育委員会の方や、本部町交流に関わった方、ほかたちにこんな体験を



南富良野小学校
木村 吏玖

僕は、沖縄に行く前に書いた抱負作文の中にあった、沖縄で楽しみなことと学ばないことについて書きます。

まず、楽しみなことに書いてあった海のことについてです。二日目に海に入る予定があったので雨がふらないかと心配になりました。結果的には雨はふらず、くもりのままで海に入ることができました。海では遊泳とバナナボートができ、少しの時間でしたがすごく楽しく過ごすことができました。三日目にも海で遊ぶ予定があったので楽しみでしたが、悪天候のため海での遊びが中止になっていました。ですが本部町役場の人が違うスケジュールを考えてくれたので心を入れかえてその後の活動に全力を出して取り組みました。

次に、沖縄で学びたいことに書いてあった沖縄の食文化についてです。食文化は、一日目の夕食会や三日目のホームステイ、レストラン岬での

お昼ご飯で沖縄そばやタコライスを食べさせてもらってすごおいしかったです。またタコライスを食べる時に辛いソースが置いてあって、そのソースをかけて食べるという感じが良かったです。また本部町のかりゆし市場で買い物をしたときに市場の中で辛いソースが置いてありました。このことから僕は沖縄の人は辛い物が好きなのだろうと思いました。このようなことから僕は沖縄の食文化を学ぶことができました。

また、僕は沖縄に行つたことについての感想があります。まず沖縄に行く前の移動の中で友達と沖縄での話をしている、行く前からとても楽しかったです。そして飛行機に乗って沖縄につくと空は少し雲っていたけれど少し暑かったりもしました、けれど沖縄についていたわくわくがたたくさんあって楽しみになり、暑さもわすれるようなかんじでした。二日目は、シーサーづくりでみんな個性的なシーサーを作っていておもしろかったです。また、海で遊ぶのも楽しかったです。

三日目は、美ら海水族館でジンベエザメを見たりして、最後にはホームステイでおい



首里城

五日目は、首里城に行つたり、ゆいレールに乗つたりして南富良野町に帰りました。僕は、この一週間で色々なことがあつて学ぶことも多かったです。すべてが楽しい一週間になりました。

「沖縄の5日間」



南富良野小学校
三浦 雅史

僕は、沖縄で、楽しかった事、感じたこと、学んだことは、いっぱいあります。

一日目は、歓迎夕食会が一番の思い出です。ですが、そのまへにも、飛行機や泊まるホテル、沖縄の暑さなどの、いろいろな体験も、楽しい思い出になっています。歓迎夕食会では、ホームステイ先の蒼田君たちが迎えてくれました。沖縄の食事をしたり、お話をしたり、よさこいを披露したりして、とても楽しい思い出になりました。

二日目は、海を楽しむにいました。シーサー作りや、伊豆味小学校交流学习、ハブショーなどで沖縄の文化について学べてよかったです。海では、バナナボートにのって沖縄の海を満喫できて楽しかったです。

三日目は、沖縄に来て、一



伊豆味小学校との交流学习

番楽しみにしていたホームステイがあります。美ら海水族館ジンベエザメやエイなどの初めて見る大きな魚がいっぱいいて、びっくりしました。魚のクイズなどもあって、とても楽しかったです。班のみんなと、力を合わせて、全問正解することも、ありました。二回目の海では大雨がふつてきて、家の中で焼き肉をする事になったけど、その後は晴れて、水きり、沖縄ではとんとんみと言っていてびっくりしたけど、とんとんみ対決やキャッチボールをしたりして楽しかったです。ホームステイ引渡式では、代表の発表をするから、きんちようしたけど、後は蒼田君たちといっぱい遊ぶだけだから、楽しかったです。蒼田君の家は、海の目の前なので、すぐに海に行って遊びました。飛びこみ台などもあって、ビビったけど飛びこんだりして、楽しおことができました。夜ごはんは、みんなでもちを作って食べました。おいしかったです。その後はゲームをして、みんなでも楽しかったです。さんしんなどの文化にもふれる事ができました。最高のホームステイでした。

「沖縄でのふりかえり」

南富良野小学校
澤井 風花

四日目は、沖縄国際通りが一番楽しめました。ひめゆりの塔では、ひめゆりがくたいの事や、戦争のきびしさやかなしさをしっかりと学ぶ事ができました。平和の礎「平和祈念資料館」では、体験者の話を書いた本などを読み、戦争で、どんなつらいことがあったのかを学ぶ事ができて良かったです。国際通りでは家族へのお土産をいっぱい買いました。ちんすこうが特においしかったです。

五日目は、首里城が一番楽しめました。首里城では、きれいにぬられた赤や中のきれいな構造など、とてもすごい建物でした。ゆいレールでは乗るのが初めてなので、フクフクしていました。ゆれたりする時に、たえれるかゲームなどをしたりして楽しかったです。

沖縄では、毎日に思い出があふれており、いつでも楽しめ、学んで、最高の学習になりました。

私は六月二十四日から六月二十八日まで四泊五日沖縄に

行ってきました。その五日間の中で私が体験したことの中から楽しかったことや学んだことを発表します。



シーサー作り

私は本部町で体験して楽しかったことと学んだことが四つあります。

一つ目はちゅら水族館に行ったことです。色々な種類の魚がいて、二階に行くと魚のエサやりをしていました。そこで学んだことはマンタはエサがまとまっているとぐるぐる回りながらエサを食べることがわかりました。

ジンベエザメは立ちながらエサを食べていました。

二つ目はホームステイのことについてです。ホームステイでは謝花 杏ちゃんと上間陽夾ちゃんと私で杏ちゃんの

家にとまりました。

最初に家に帰る前にシーサーの色ぬり体験をしました。ホームステイで学んだことは、二種類の家があることです。一つ目はやねがかわらでできている家と木などでできている家もありました。

三つ目は、シーサー作りと琉球ガラスコップを作ったことです。シーサー作りではシーサーの顔の形の小物入れを作りました。

最初はつまづきでなかったのですが先生などにたづねてもうできました。

琉球ガラスコップ作りではふくらますときはかんたんだったけど、あとのころがして形を作るときはすごくおずかしかったです。

学んだことはシーサー作りでは土がかわくまにすばやく作らないといけないことがわかり、琉球ガラスコップ作りではちようどいいペースでやらないといけないことがわかりました。

四つ目は、ハブショーを見ただことです。ハブを首にまきました。またときに、首がしめられて、ちょっとだけ苦しかったです。

学んだことは、ハブの特性ようは、頭が三角形だとい

徒隊についてです。ひめゆり学徒隊の人達は、まだ若いのに、戦争に行かされてかわいそうと思いました。

次に行った所は平和祈念公園です。戦争に行った人達の体験したことが書いてある本を4さつくらい読みました。戦争の実際の写真を見ておねがいになりました。

沖縄に行つて色々なことを学びました。沖縄に行けて本当に良かったです。



国際通り

うこと。ハブの一番苦手な動物はマングース。絶対にかまれてはいけないところは、あきれすけん。うで。首。ハブの一番弱いところは頭など教えてもらいました。

また沖縄に行くことができれば、沖縄のいいところなどをたくさん知りたいです。

これで、私が沖縄で楽しかったこと、学んだことを、終わります。

「本部町交流の思い出」

南富良野西小学校
佐藤 美雄

ほか、本部町交流で一番楽しかったのは美ら海水族館です。

いちばんおどろいたのは、ジンベエザメやマンタのいた巨大水槽です。高さが8・2m、幅が22・5mもありました。その中で12mもあるジンベエザメが、えさを食べているのは、とてもはく力がありました。

外のプールでは、イルカのオトちゃんのショーがありました。水中で、大きく口をあけて、お客さんにあいさつしている姿がとてもかわいかったです。

次に楽しかったのは、本部

町の安田さんの家にホームステイに行ったことです。



美ら海水族館

六年生の愛永くん和弟と陽くんと、花火をしました。大きな筒の打ち上げ花火をやったら、一こ目は連続できてとてもきれいでした。二こ目は、いきなり大きな音が出て、火花が出たのでびっくりしました。

次に楽しかったのは、四日目の夜のステーキハウスです。牛肉の鉄ばんやきをする時に、お店の人がコシヨの入れものでジャグリングのパフォーマンスをしてくれました。とてもおもしろかったです。牛肉のステーキもすごくおいしかったです。

国さい通りのグループ行動の時には、雪塩ソフトを食べ

ました。あくの部屋のいすにすわって、「コア味やシューアーサー味などいろいろな味の塩をソフトにかけて食べました。でも、ふつうの雪塩が一番おいしかったです。

この本部町交流で、沖縄の文化や歴史について、たくさんのお話を学ぶことができた。そして、伊豆味小学校などたくさん本部町の人と友だちになれてうれしかったです。

ほくにとつて本部町は、南富良野町の次に大好きな町になりました。

「沖縄で楽しかったこと」

南富良野小学校
佐々木 愛唯

私が沖縄で楽しかったことはホームステイと国さい通りの買い物です。

ホームステイでは、まこちゃんの家に行つてさくらちゃんが遊びに来てくれました。

最初に歩いて海に行きました。貝やヤドカリなどを探しました。

まこちゃんの家にもどつて、まこちゃんの弟さんとヒカキンの動画を見ました。

さくらちゃんとまこちゃんとは別の動画を見ていました。しばらくしてご飯を食べました。もずくのスープがとてもおいしかったです。

ごはんを食べた後、まくらなげをしました。とても楽しかったです。

次に楽しかった国さい通りに行つて、最初にアイスを食べました。私はシューアーサー味のアイスを食べました。私の班は全員別な味を選んだので私の班の女の子から一口わけてもらいました。その味は期間限定のアイスでした。

シューアーサーも期間限定のアイスもおいしかったです。私が国際通りで買ったのは、ダンスの先生のおみやげに、ダンスをやっている友達と紅いもタルトを買いました。ピアノの先生には、ちんすこうを買いました。そして自分に

「自由人」と後ろに書いてあるTシャツを買いました。お父さんには、空港で交通安全のお守りで、お母さんには長生きのお守りを買いました。別の班でサングラスやアイマスクを買っている人もいました。

学んだことは、沖縄の歴史についてです。ひめゆりの塔で学んだことは、ひめゆり学

富良野親子保養合宿（8月2日～8日）

福島県の6家族が参加し、夏の富良野地方を体験するプログラムがかなやま湖スポーツ研修センターを拠点に行われました。

ふらのチャリティーウォークの主催で行われたこのイベントには、福島第一原発事故で不自由な生活を送っている家族に自然に親しんでもらうことを目的に開催しているもので、ミニトマト狩り体験や落合どんころ野外学校周辺の自然散策などが行われ、子ども達は小川に入り水を掛けあったり南富良野の大自然を満喫していました。



七夕まつりを楽しむ（8月7日）

町商工会（曾慶一介会長）の主催による恒例の「こども七夕まつり」が幾寅駅前広場で開催され、親子連れなど多くの皆さんが来場しました。

集まった子どもたちは、4グループに分かれ「ロウソク出せ」を歌い商店街を回り、手に一杯のおやつなどをもらっていました。

会場では、流しソーメンが無料で提供されたほか、子ども達は配られた花火をしたり、食べ物やおもちゃの露店が出店され、来場した皆さんは楽しい一夜を過ごしました。



ふくしあで夏祭り（8月10日）

社会福祉法人南富良野大乘会が運営する特別養護老人ホームふくしあ（東雅春施設長）で10回目の夏祭りが開催されました。

当日は天候の都合により、施設内での開催になりましたが、利用者や家族をはじめ地域住民など多くの皆さんが集まり、「蝦夷笑福芸能ふらのひょっとこ」や職員による「南京玉すだれ」、「よさこいソーラン」などが披露され、訪れた皆さんは手拍子をしながら楽しんでいました。

また、出店ではボランティアの方々のお手伝いもあり、助六寿司や焼き鳥、かき氷など多彩なメニューが格安で販売されました。



「幾寅地区盆踊り大会」夏を楽しむ（8月18日）

幾寅地区連合町内会（阿部修一会長）が主催する「地域ふれあい盆踊り大会」が町民体育館で行われ、多くの皆さんが参加し、なかには外国の方の参加者もありました。

会場では、焼き鳥やかき氷なども出店され、中央部のやぐらを中心に子ども盆踊りや仮装盆踊りが行われ、仮装の部では、個人・団体に分かれて出場者はそれぞれ工夫を凝らした衣装で登場し、参加者や見物客を楽しませていました。



このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

カメラレポート CAMERA REPORT

金山小果樹農園の果実摘み

（7月16日～8月8日）

金山高台地区にある小果樹農園では、今年もブルーベリーやびっくりグミなどの色とりどりの果実が実り、保育所やぷっこクラブ、千里大学、地域サロンなど多くの方が果実摘みに訪れました。

訪れた皆さんは、色づいた果実を食べ、味を楽しみながら、入れ物いっぱいにも果実を摘み取っていました。

金山小果樹農園では、9月29日（日）まで町民限定で開放しています。

※毎週月曜日休園（月曜日が祝日の場合は火曜日）・予約連絡先（産業課農政係☎52-2178・鹿野さん☎090-2691-4895）



子ども朝活事業「南プ塾」

（7月30日～8月1日）

夏休み中の生活習慣の定着を図ることを目的として「南プ塾」が行われました。

3日間の開催に延べ146名の児童が参加、高校生ボランティアや社協ボランティア、社会教育委員などが児童たちをサポートしました。

参加した児童たちは、猛暑日が続く期間中でありましたが、夏休みの宿題や運動、クラフトテープを使ったもの作りなどのプログラムに元気に取り組んでいました。



幾寅タイガース富良野地区大会優勝

（8月3日・4日）

太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜富良野地区大会が富良野市宮若葉球場で行われ、熱戦を制し幾寅タイガースが優勝をしました。

この大会では、南富良野小学校5年生の阿部悠翔君が優秀選手賞、大浦武尊君が打撃賞に、同じく4年生の山科樹生君が敢闘賞を受賞する活躍をするほか、チーム全員が一生懸命なプレーを見せました。

この後8月18日に行われた上川代表選では、力及ばず第3位の結果となりましたが、今後も幾寅タイガースの活躍が期待されます。



「とれたて野菜まつり」（8月3日）

J Aふらの南富良野支所とれたて野菜まつり実行委員会主催による「第18回地場産とれたて野菜まつり」が道の駅物産センター横の広場で開催され、多くの買い物客や観光客で賑わいました。

とれたてのミニトマトやスイートコーン、じゃがいもなどが並び、格安で販売されました。

このほか、地域の美味しい主力野菜を原料にしたポトフや牛乳が来場者に無料で提供、名物の人参の詰め放題が行われました。



富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

しょうぼう広報 ほのお

喘息（ぜんそく）ってどんな病気？

日本では、喘息の患者が増えており、現在では日本全体で400万人を超えています。
お年寄りから子供まで幅広く、そして誰にでも起こりうる怖い病気です。喘息の特徴や対処法を記載しましたので参考にしてください。

○**気管支喘息の原因と特徴**

原因：アレルギー、気候変化、過労、ストレス薬物の副作用、運動
※アレルギー（ハウスダスト、花粉、卵、そば、動物の毛、牛乳、大豆、小麦など）
特徴：呼吸するとき「ヒューヒュー」「ゼーゼー」というような音が聞こえる。
息苦しさを感じ、せきが頻繁に出る。
夜間や早朝に症状が出やすい。

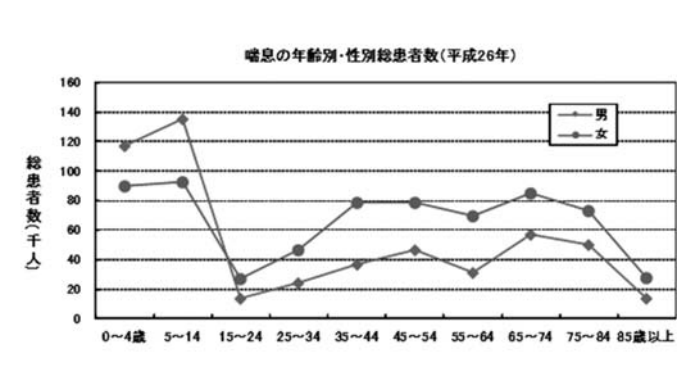
○**気管支喘息の頻度や症状等と重症度**

	軽度	中度	重度
頻度	週1回未満	毎日	毎日
症状	軽くて短い	週1回以上、睡眠が妨げられる	治療下でも中度の症状が出る
夜間頻度	月2回未満	週1回以上	しばしば
運動等	軽度であれば可能	困難	極めて困難
日常生活	支障なし	支障あり	制限あり



○**気管支喘息の原因と特徴**

- 発作が発生したらすぐに吸入薬を投与もしくは吸引しましょう。
- 薬がない場合、軽度でも呼吸に違和感を感じたら医療機関に受診しましょう。
- 発作を起こさないように、アレルギーの原因になるものはあらかじめ除去しましょう。
- 呼吸困難や顔貌蒼白など重度な症状が見られる場合は119番通報してください。



発作がひどく、薬を投与しても改善がない場合、119番通報をしてください。

左の表を見ると子供（0～14歳）に多く見られますが、一番少ない15～24歳の男性でも2万人弱の患者がいるのが現状です。世代に関係なく誰でも喘息を発症する可能性がありますので、予防するなどの対策をしておきましょう。

今でこそ喘息発症により亡くなれる方は以前より減少傾向であるものの、現在でも1,000人以上亡くなれる方がいます。（2009年で約2,000人、最大の1995年で約8,000人）

南富良野支署出動件数(平成31年1月～令和元年7月末現在)

救急出動	64件	(内ドクターヘリ要請件数12件)
火災出動	4件	(内他市町村応援出動0件)
救助出動	0件	

令和元年9月3日発行 南富高新聞 第29号

夏期進学講習
今年度も、7月24日（水）から26日（金）までの3日間、国語・数学・英語の3教科、各90分の進学講習を実施しました。3教科とも「基礎コース」と「発展コース」を設定し、生徒たちの習熟度に応じた少人数制の講習を展開しました。気温が高く暑い中、生徒たちは汗をぬぐいながら、教員の解説をメモにとり、問題に向き合い、考え、互いに教え合い、解答を導き出していました。進路実現に向けて、夏休みは大事な時間です。1・2年生は基礎力養成として、3年生は、具体的な受験対策として、学習に打ち込む熱意がひしひしと感じられました。いずれの受講生も、それぞれの進路目標達成に向けて、この夏やるべき学習課題を自分の力にするため、意欲的に講習に取り組みました。また、講習以外の時間や自宅においては、本年度から導入しているeラーニング(クラウド型ウェブ教材、デジタルドリル)を活用し、解説動画を視聴し、そして問題を解くというステップでも学習を進めていました。

検定試験にも積極的に挑戦中
自分の力を試すため、そして将来のために、日本漢字検定や語彙・読解力検定、英語検定、全経簿記能力検定、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定(表計算)などに、今年も多く生徒が果敢に取り組んでいます。





シリーズ学校だより(200)
各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野高等学校▶▶▶
「南富良野中学校で進学希望者向けeラーニングの体験授業を実施」
7月23日（火）南富良野中学校3年生向けに実施された「南富良野高校進路講話」では、今年度より南富良野高校で、大学進学等を希望する生徒を対象として導入しているeラーニング(クラウド型ウェブ教材、デジタルドリル)の体験授業を実施しました。
今回は、2～3人のグループが1台のタブレットを共用し、タブレット上で講義動画を視聴して、関連の練習問題を解答する約15分間の模擬授業を展開しました。
この南富良野高校進路講話に先だって7月18日（木）、南富良野中学校3年生保護者向けに開催された「南富良野高校説明会」においても、基礎基本を大切にした教育活動や地元高校としての進路指導に加えて、eラーニングを用いて大学進学希望者向けに本校が取り組んでいることなどについてご紹介しました。普通科高校としてのさらなる可能性を感じていただければありがたいです。

「南富良野中学校で進学希望者向けeラーニングの体験授業を実施」
7月23日（火）南富良野中学校3年生向けに実施された「南富良野高校進路講話」では、今年度より南富良野高校で、大学進学等を希望する生徒を対象として導入しているeラーニング(クラウド型ウェブ教材、デジタルドリル)の体験授業を実施しました。
今回は、2～3人のグループが1台のタブレットを共用し、タブレット上で講義動画を視聴して、関連の練習問題を解答する約15分間の模擬授業を展開しました。
この南富良野高校進路講話に先だって7月18日（木）、南富良野中学校3年生保護者向けに開催された「南富良野高校説明会」においても、基礎基本を大切にした教育活動や地元高校としての進路指導に加えて、eラーニングを用いて大学進学希望者向けに本校が取り組んでいることなどについてご紹介しました。普通科高校としてのさらなる可能性を感じていただければありがたいです。

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315

☎090-5985-4339

今年の夏も暑さが落ち着き、あっという間に夏が終わってしまいます。気温の変化に合わせて衣服を調節し、体調管理に気をつけましょう。また、夏の疲れが出やすい時期ですので、十分な睡眠と栄養で乗り切りましょう！！

ぷっこクラブ～消防署見学～



たくさんの消防車に乗せてもらい大喜び♪放水の迫力にみんな釘づけになって見ていました☆

0歳ぷっこクラブ～「ベビーマッサージ」



動いてしまう子ども達も、お母さんの手の体温とぬくもりでうっとり、その後のお昼寝はいつもよりぐっすり寝てくれた！と喜びの声もありました(^◇^)

ぷっこクラブ～かなやま湖遠足～



遊具で思い切り楽しんだり、落ちていた木を拾い集めたり、川を渡ったり、時間いっぱい遊ぶことができました★

1歳ぷっこクラブ「水あそび」



水あそびがはじめての子もいましたが、お母さんと少しずつ楽しみました♪水着姿もとってもかわいかったよ☆

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

曇り空の多い7月の天気でしたが、大好きな水遊びができる日は、みんな大喜びで気持ちよさそうにプールに入ったり水鉄砲やジョーロで遊んだりとても楽しそうです。北海道の短い夏、思いっきり満喫した1日でした。



金山保育所

7月4日、年長児5名がかなやま湖で自然体験学習を行いました。少し風が吹いていましたが力強くカヌーを漕いだり、湖に入ったり、魚釣りを楽しみました。たくさんの経験でひと回り大きくなった年長さんです！



教育委員会通信

学校教育係・生涯学習係
☎52-2145

千里大学公開授業のお知らせ！

千里大学生と一緒に楽しく健康について学びませんか？

当大学の授業を下記により一般公開しますので、気軽にご参加下さい。

- 日 時 令和元年年9月12日（木）10時00分～11時50分予定
○開催場所 保健福祉センターみなくる 2階中会議室
○内 容 講義「健康と美容・表情筋を鍛えて健康美人」
講師 相馬 好江 氏

※参加を希望される方は、直接会場へお越しください。

野外活動を実施します！

南富良野にはすばらしい自然資源がたくさんあります。

季節によっていろいろな景色が見れるし、そこに棲む生き物も様々です。

地元の貴重な資源を活かして楽しく遊びませんか？

○目 的

- ①南富良野の自然に親しみ、自然資源の保護と活用を考える
②既製品に依存しない遊びを通じて、脳の活性化、想像力育成、生きる力を身につける

○対象年齢 未就学児～小学生（未就学児は保護者同伴）

○定 員 20名（申し込み先着順）

○日 時 令和元年9月7日（土）9時30分～15時30分（集合 9時30分役場前）

○場 所 落合地区（パンケヤーラ川）

○内 容 南富良野の川の生き物探し・魚釣り

○申込み・問い合わせ先 南富良野町教育委員会 生涯学習係 電話 52-2145

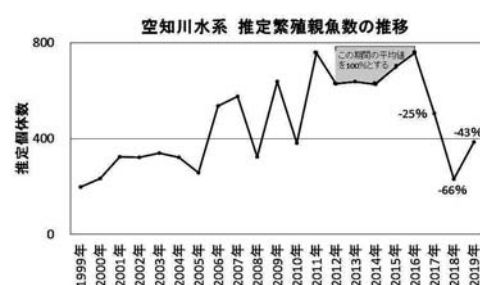
○今後の予定

11月10日 秋の森歩き

1月9日 森の中でソリすべり・簡易テントづくり

2月8日 森の中でかまくらづくり 3月14日 エゾモモンガさがし

※20歳以上の方でお手伝いいただける方をボランティアスタッフとして募集します。



町教育委員会では、南富良野町イトウ保護管理条例に基づき、町内を流れる空知川水系で、毎年イトウの産卵及び生息状況を調査しています。

【どうやって調べるの？】

イトウは、サケ同様に、川底に穴を掘って産卵します。産卵した後は、卵に砂利をかぶせて埋め残ります。その痕跡のことを「産卵床（さんらんしょう）」と言います。川全体の産卵床数を調べると、その年どのくらいの数のイトウが産卵したかわかります。つまり親の数が推定できます。



今年、産卵をしたイトウの数が昨年よりも若干増え、平成28年8月の水害前の資源量と比較すると43%減。昨年は66%減でしたので、昨年よりは23%増ということになります。ただし、イトウの繁殖頻度や年変動を考慮すると、単純に回復したと言える状況ではありません。

より確かな資源量を推定するためには今後2～3年は要すると思いますが、かなやま湖より上流の小魚、小魚のエサとなる水生昆虫が回復傾向にあるため、このままの環境を維持して、繁殖期をしっかりと保護していればイトウの資源量は回復に向かうと考えています。

豊かな自然の象徴であるイトウの産卵保護にご協力をお願いします。

イトウの産卵状況と資源量

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し、紙上をもちまして厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

まちづくり応援寄付金

○東京都 新田 義則様

四一、八一六円

○静岡県 杉本 淳一様 一万円

○大阪府 西山 悟様 四百万円

社会福祉協議会へ

○幾 寅 石垣優子様より故新沼

慶子様生前のご厚志に対するお

礼として 三万円

○幾 寅 菅原勝夫様より故菅原

マサ子様生前のご厚志に対する

お礼として 十万円

○岩手県 相蘇紀代美様より故相

蘇貞雄様生前のご厚志に対する

お礼として 十万円

○札幌市 北都プロレス様より社

会福祉協議会の運営に活用する

寄附として 一一、八〇二円

一味園・からまつ園・ごくら園・くしあへ

○幾 寅 旭川石油幾寅ステーション

○幾 寅 幾寅実業総合センター

○幾 寅 幾寅婦人会

○幾 寅 幾寅郵便局

○幾 寅 一 十 條

○幾 寅 乙 十

○幾 寅 小松建設工業株式会社

○幾 寅 旭川の南富良野支所女性部

○幾 寅 幾寅ソケイズ

○幾 寅 南富サポート㈱

○幾 寅 南富自動車サービス㈱

○幾 寅 南富フーズ㈱

○幾 寅 南富林建㈱

○幾 寅 南富良野町商工会女性部

○幾 寅 山下電機

○幾 寅 幾寅吉岡建設

○幾 寅 幾寅山西すみ子

○金 山 ペンキ屋金山美装

○金 山 井崎 一 久

○金 山 川井 稔

○下金山 幾寅永井工務店

○下金山 平野 清 司

○富良野市 三 番 館

○富良野市 西川食品

○富良野市 ヘアサロンナカオ

○富良野市 メガネのデ・アイ

○富良野市 織 田 馨

○富良野市 柿 原 孝 司

○富良野市 千 葉 傳

○富良野市 山下 祐 二

○上富良野 政 氏 文 子

○東神楽町 市 川 哲 男

○旭川市 旭川大丸アサヒビル㈱

○旭川市 旭川福祉専門学校

○旭川市 杉 本 正 人

○帯広市 小牟禮 峰 行

○帯広市 戸 塚 一 衛

○大樹町 山 内 艸太郎

○赤平市 川 井 文 隆

○滝川市 旭フーズコーポレーション

○岩見沢市 須 田 勝 雄

○江別市 社会福祉法人長井学園

○北広島市 山 下 宏 基

○札幌市 磐北海道保育専門学校

○札幌市 沖 匡 宏

○札幌市 鎌 田 栄 治

○札幌市 三 森 輝 夫

○札幌市 吉 岡 繁 勝

○恵庭市 吉 村 芙美香

○小樽市 前 北 啓 子

○根室市 佐々木 優 子

○岩手県 相 蘇 紀代美

☆お誕生おめでとう

北落合 吉 田 藍 あい

令和元年7月8日生まれ

★お悔やみ申し上げます

幾 寅 高 橋 福 江 (83)

令和元年7月8日逝去

金 山 相 蘇 貞 雄 (87)

令和元年7月9日逝去

幾 寅 新 沼 慶 子 (78)

令和元年7月11日逝去

幾 寅 加 茂 清 子 (88)

令和元年7月15日逝去

幾 寅 菅 原 マサ子 (77)

令和元年7月23日逝去

幾 寅 上 原 正 雄 (82)

令和元年7月31日逝去

わたしたちのまち

(令和元年7月末日現在)

人 口 2,469人(△6)

男 1,248人(△2)

女 1,221人(△4)

世帯数 1,373戸(0)

() 内は前月比